

(様式⑦ 小学校・中学校)

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立	新金岡東小	学校
校長	永井	美穂

中学校区におけるめざす児童像

主体的に学び続ける子
自らを律し、生涯にわたり学び続ける子 の育成 をめざす

令和7年度 重点目標

「豊かな心・健やかな体・確かな学力の育成」という本校の学校教育目標をもとに、中学校区におけるめざす児童像主体的に学び続ける子に迫るため、以下の示めざす子ども像・学校像・教職員像により近づいていくことで学校力を向上させていきたいと考えている。

めざす子ども像：『ひがしっ子』のひ・人を大切にすることが、がんばりぬく・し・しっかりと自分をみつめ考える子の育成

めざす学校像：『安全・安心な明るく楽しい学校』『一人ひとりの良さを伸ばし学びあう学校』『家庭・地域に開かれた信頼された学校』風土の醸成

めざす教職員像：『教育活動に夢と希望を持ち続ける教職員』『学び続け確かな指導力を発揮する教職員』『豊かな人権感覚を持ち信頼される教職員』への薫化

確かな学力の現状

豊かな心・健やかな体の現状

○令和6年度は子どもが「わかる授業」「できる授業」に重点を置き、ユニバーサルデザインの授業改善を行った。まずは、一日の学校生活や1時間の授業の見通しを丁寧に視覚化し、安心して教室で学べる基礎的環境整備に取り組んだ。その結果、どの学年の児童も静謐な教室環境の中で学習に取り組むことができた。また、東っ子の学習スタンダードの徹底を図ることで、主体的・対話的な学習態度を定着させることにより、学校教育プロジェクトの「自分の考えを書け！」「話し合おう！」の肯定回答率が80%を超えた。「主体的・対話的で深い学び」のより深い学びにせまるため、ペア学習やグループ学習などの対話的で協働的な学びと自らの学びのめあてを選び取る学びにも挑戦した。自己選択・自己決定を原則とした学習スタイルで認知トレーニング（ビジョントレーニングや注意集中心力の向上）を行った。今年度も学びのコンパスや堺版STEAMブックの授業づくりを進めたい。

令和6年度「ひまなぐさ」を育むでは、学びの調査・アンケート結果によると、「人の役に立つ人間になりたい」という、6年生では堺市平均を大きく上回り80%を超えた。「自分には良いところがある」という肯定的評価が80%を超えた。〇「健やかな体」を育むでは、新体力テストの総合評価AからCが80%に満たないとの結果であり、課題が多くあるもの。運動することが好き」と答える肯定回答率が87%であった。休み時間もほとんどの子どもが運動場に出て、元気に体を動かした活動である。民間活動の充実が授業への集中力を高める好循環を生み、全国体力向上優良校賞を受賞した。運動することが好きという子どもが大半を占める本校の良さ強みを活かし、さらに子どもたちの体力向上と健康保持増進につながる体育活動を増やしていきたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	基礎基本の定着	自己選択・自己決定を原則とした学習方法で、読む・書くの基礎力と聞く・話すの基本を定着させる。	●毎朝「モジュール学習」「読書タイム」実施、自己選択・自己決定を原則とした学習スタイルで認知トレーニング(ビジョントレーニングや注意集中力の向上)を行う。	学校アンケートで『朝のモジュール学習や読書タイムは好きですか』児童の割合は80%	学校教育アンケート	通年					
			教育活動すべての活動の時間を使って、聞く・話す活動(対話)を充実させる。	学校アンケートで「学校の様々な活動の中で、聞く・話す活動を行って楽しい」児童の割合が80%	行動観察	毎週					
	授業改善	「勉強が楽しい」(わかる・できる・やってみたい)と感じる授業づくりを行う。	授業の中で、必ず自分の考えをノートに書く場面を取り入れたり、考えや学習の足跡がわかるようなノート指導に取り組む。	学校アンケートで「自分の考えを書いたり話し合っている」児童の割合は80%以上。	児童のノート 学校教育アンケート	通年3学期					
●東つ子スタンダードを徹底し、ペア学習やグループ学習などの対話的で協働的な学びから、自らの学びのめあてを選び取る学習スタイルに挑戦する。			学校アンケートで「自分の考えを書いたり話し合っている」児童の割合は80%以上。	児童のノート 学校教育アンケート 授業観察	2・3学期						
★全学年で自主学習ノートに取り組み、家庭学習の習慣を作る。			家庭学習を30分以上している児童の割合60%以上	学校教育アンケート	通年3学期						
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する。	児童会活動を充実させ、思いやりの心、高学年のリーダーシップ等を育て、社会性を高める指導を充実させるとともに、いじめのない学校をめざす。	「いじめのない学校にしたい」で肯定的評価90%以上。	学校教育アンケート	1学期 2学期 3学期					
			最後までやりきる成就感、達成感が得られる活動を行い、自己効力感を育てる。	「自分にはよいところがある」で肯定的評価80%以上。	学習状況調査	3学期					
			特別活動・道徳教育を軸に、すべての学習活動で互い違いを認め尊重し、共に生きようとする態度を養う。	「人の役に立つ人間になりたい」肯定的評価80%以上	学習状況調査	通年3学期					
			●一人ひとり児童に積極的にかわり肯定的に受容することで児童の自己肯定感と教職員への信頼度を高める。	「先生はよく話を聴いてくれますか。」「先生によくほめてくれますか。」「についてともに肯定率80%以上。	学校教育アンケート	通年3学期					
	体力向上	体力向上推進校の指定を受け、保健健康指導の充実と運動に親しむ環境整備と、体力の向上に取り組む。	●体力向上推進校として、体育の授業の質の向上と、体育的行事への取り組みの充実を図る。	学校全体で『運動することが好き』という肯定回答率83%をめざす。	学校教育アンケートなど	通年					
			ICTを活用し堺版STEAMブック学びのめあてを自ら選び取ることに挑戦する。学校群で公開授業を行う。	ICTを活用した体育公開授業および討議会	学校教育アンケート 討議会の内容	通年					
(地域連携)	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域と共に歩む学校づくりを進める。	学校ホームページ、学校だよりを活用し、教育活動の情報発信を行う。	学校アンケートで「学校は、教育方針や教育活動の様子を校報やホームページ等でよく伝えている」と答えた保護者の割合は90%以上。	学校教育アンケート	通年					
			●「児童たちの安全と安心のために」を合言葉に、保護者・地域の方とつながる学校づくりを行う。	見守り活動や地域の行事において、地域・学校・保護者が連携して取り組んでいる。	進捗状況 学校協議委員 のご意見	通年					
校長より(年度末)							学校関係者評価者から(年度末)				